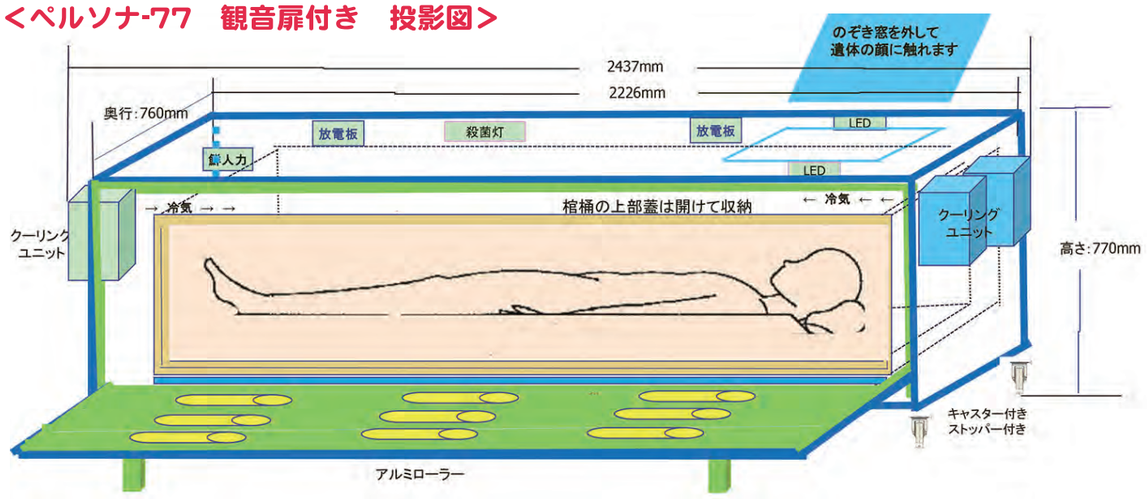
「ペルソナ-77」仕様

●製品名：ペルソナ-77
●冷蔵・冷凍機能：-4℃～0℃（ノンフロン）
●電場機能：あり（パーシャル状態）
●除菌・脱臭機能：予防細菌による腐敗防止、死臭のガダベリン、酪酸プトレシン、アンモニア、メチルメルカプタン
●殺菌灯：大腸菌、腸チフス菌、赤痢菌、ブドウ球菌、枯草菌、結核菌
●収納保管方法：遺体専用トレー、市販棺桶
●特徴：デザイン　自由に設計可能
　　収納扉　下方開閉
　　のぞき窓　サイズ、開閉設計可能
●アルミ製棺台使用：不可
●寸法：W2388 × D760 × H770 (mm)
●重さ：約140kg
●電源：100V

＜ペルソナ-77　観音扉付き　投影図＞



①クーリングユニット（サーモクーラー）
②電場発生装置＋放電板２枚
③殺菌・脱臭装置
④殺菌灯
⑤保冷庫（LED照明付き）
⑥既存棺桶（ご遺体納棺サンプル図）





設置場所に合わせて、デザイン・収納方法など
オーダーメイドにて制作いたします。
詳細は弊社担当営業までお問合せください。

ペルソナ　メディア紹介





月刊 フューネラルビジネス
2019月10月号

月刊 仏事
2020年4月号

サンデー毎日
2019年12月号

読売新聞 夕刊
2018年10月15日 など

その他、紹介実績多数

特　　許　第6603275号
特　　許　第6603434号
特　　許　第6924092号
特　　許　第6954961号
特　　許　第7023639号
特　　許　第7242365号
実用新案登録　第3208133号
商 標 登 録　第5934418号
特許出願番号　2019-200913

販売代理店

ご遺体保存は新たなステージへ

～生前の綺麗なお姿を長期保存・保管～



ご遺体保存庫
ペルソナー77

ドライアイス不要で、冷凍しない遺体保存機能。

遺体専用トレー（またはお棺）を内部温度マイナス 4～0℃ を維持し、電場機能によりご遺体をパーシャル状態で 保存します。ご遺体を凍結させないことで劣化を防ぎ、ご遺族にも最良の状態で対面していただくことができます。会葬時にもお使いいただけるよう、高さを「77cm」に設定しました。

コスト削減、さらに環境問題にも対応。

ドライアイスを使用しないことで経費削減となるだけでなく、二酸化炭素（Co2）の排出を軽減し、火葬時における火葬炉腐食防止、有害な低温ダイオキシンの発生防止など、環境にもやさしい保存方法です。

腐敗防止、感染防止への衛生・安全対策も万全。

除菌・脱臭機能により、死臭のガダベリン、プトレシン、酪酸、アンモニア、メチルメルカプタン臭を脱臭し、予防細菌による腐敗を防止します。さらに、医療用殺菌灯を用いた大腸菌、腸チフス菌、赤痢菌、ブドウ球菌、枯草菌、結核菌（鳥型）などの殺菌対策も万全です。

要望に応えるデザイン、取り扱いやすさも向上。

収納方法は①前面上方開閉収納扉 ②下方開閉収納扉 ③横面開閉収納扉など、いずれのご要望にも対応いたします。のぞき窓は取り外し開閉方式です。

ペルソナ 7つの特徴

1．ドライアイス不要！世界初の画期的なご遺体保存方法です。

(特許第6603275号・第6603434・第6924092号・第6954961号・第7023639号・
実用新案登録第3208133号　※その他特許出願中多数)

電場を保存庫「ペルソナ」内に発生させ、氷点下で安置したご遺体を凍結させずに保存します。
ドライアイスを全く使用しないため、ドライアイス交換の費用と手間が掛かりません。

2、いつも清潔。お部屋の空気を汚しません。

ご遺体は、環境衛生に優れた循環式保存庫「ペルソナ」の中で安置されますので、お部屋の空気を汚しません。また、細菌汚染も起こりませんので、安心して保管できます。

3、いつでもお顔を見ることができ、お肌に触れることができます。

<温度域−4℃〜+0℃> 家庭用電源100V で使用可能です。ローラー付で移動も手軽です。

4．長期保存が可能。

通常１ヵ月程度、ご遺体は綺麗な状態で保管できます。ご遺体を凍結させることなく亡くなった時と同じ状態で、ご安置が可能です。
※ドライアイスなしで130日の保存実績あり。綺麗なお姿を留めておられます。

5．保存庫内はいつも最適環境。

ご遺体に最適な温度管理・湿度管理・除菌・脱臭管理を保存庫「ペルソナ」内で行います。
最適な環境管理で、綺麗なお姿を保持いたします。

6．100ボルト電源でいつもでどこでも設置可能。

100 ボルトの電源で使用できますので、あらゆる場所でご利用できます。なお、電磁波は発生しませんので、健康被害の心配もありません。

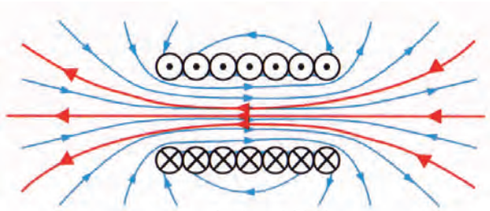


7．災害時のご遺体保存にも役立ちます。

災害対応に役立ちます。
身元確認、司法解剖等の必要性が生じた場合でも、最もご遺体が尊厳あるお姿で保管できます。

ペルソナ-77の原理

1．水の分子を細かくし、凍結温度を下げます。
2、細分子化された水が交流電場の作用で自転することにより、運動エネルギーが発生しご遺体を凍結しにくい状態に維持します。
3、水の分子配列を交流電場化で整列させ、湿度管理も含めてご遺体の劣化を抑制します。



イメージ図

実績のある最新技術を採用した保存・保管(防腐・脱臭)方法

◆電場機能によるパーシャル（微冷凍）状態の仕組み◆

電場機能とは、電子微細振動を用いて水の分子に同じレベルの波長の振動を与えることで水の分子を共振させ、クラスター（水の分子の集まり）を細かくすることです。この環境では、常に水分子が共振していることで沸点が下がり、0℃〜−4℃の氷点下においても凍結を起こしません。





電場機能で作られた氷の結晶は、尖りがなく球体になるため、細胞を壊さずに凍結することが可能になります。

電場機能環境下での鮮度維持テスト結果

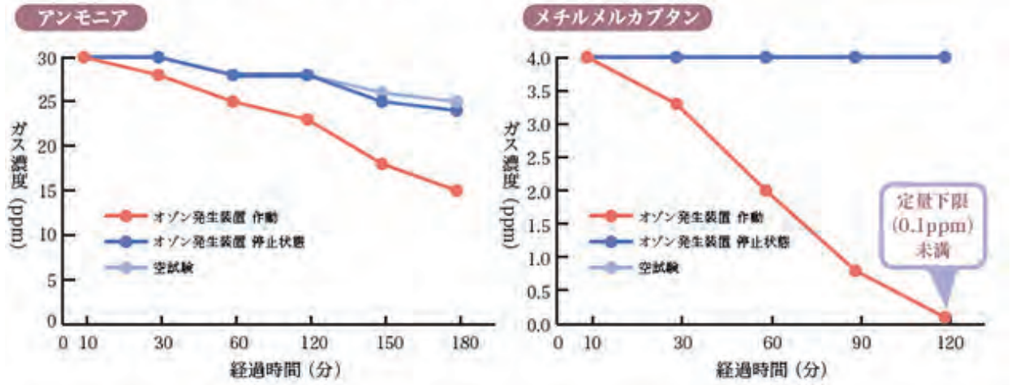


（検査機関：一般財団法人 日本食品分析センター）

◆オゾン発生装置による除菌・脱臭性能◆

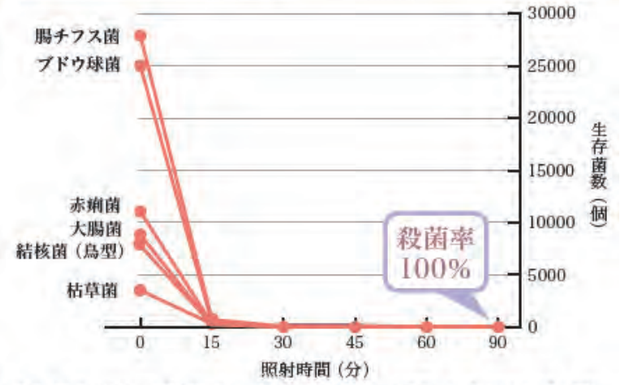
オゾン濃度0.05ppmのオゾンエアーで脱臭効果を検証。

一般財団法人　日本食品分析センター



◆殺菌灯による殺菌性能◆

15Wのランプで寒天培地上の菌を照射。　※国立衛生研究所



<効果のまとめ>

①1ヶ月以上の長期保存可能
②ドライアイス・保冷材不要
③オゾンエアーで強力脱臭
④殺菌灯で感染防止

ペルソナ-77は
オンリーワンの技術による
画期的なご遺体保存庫です。





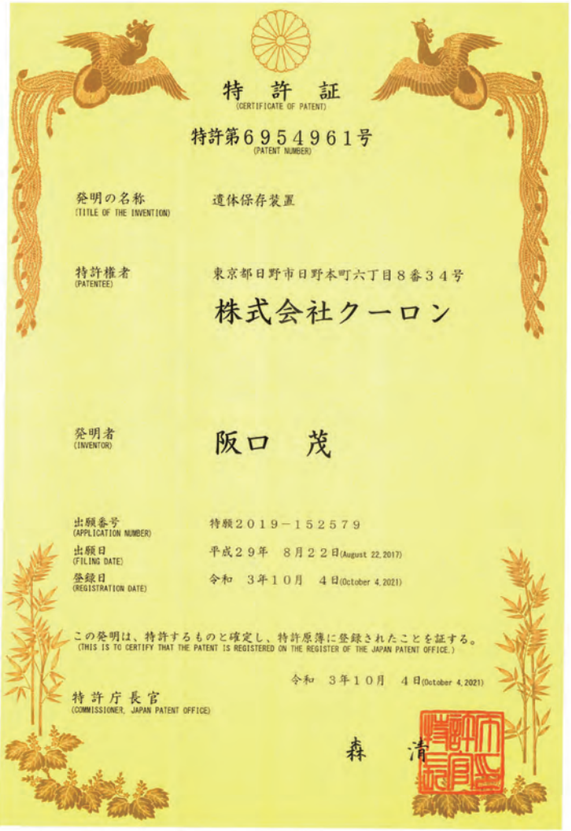


PERSONA-77D（ご遺体保存庫）
家族葬として利用

12体用　PERSONA-77D
（ご遺体保存庫）ホテル

6体用　PERSONA-77D
（ご遺体保存庫）ホテル





特　許　証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6954961号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION)　遺体保存装置

特許権者 (PATENTEE)　東京都日野市日野本町六丁目８番３４号
株式会社クーロン

発明者 (INVENTOR)　阪口　茂

出願番号 (APPLICATION NUMBER)　特願２０１９－１５２５７９
出願日 (FILING DATE)　平成２９年　８月２２日(August 22, 2017)
登録日 (REGISTRATION DATE)　令和　３年１０月　４日(October 4, 2021)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和　３年１０月　４日(October 4, 2021)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)　森　清



特　許　証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6924092号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION)　複数遺体保存装置

特許権者 (PATENTEE)　東京都日野市日野本町六丁目８番３４号
株式会社クーロン

発明者 (INVENTOR)　阪口　茂

出願番号 (APPLICATION NUMBER)　特願２０１７－１４６４５０
出願日 (FILING DATE)　平成２９年　７月２８日(July 28, 2017)
登録日 (REGISTRATION DATE)　令和　３年　８月　３日(August 3, 2021)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和　３年　８月　３日(August 3, 2021)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)　森　清



特　許　証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第7023639号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION)　棺内遺体保存装置

特許権者 (PATENTEE)　東京都日野市日野本町六丁目８番３４号
株式会社クーロン

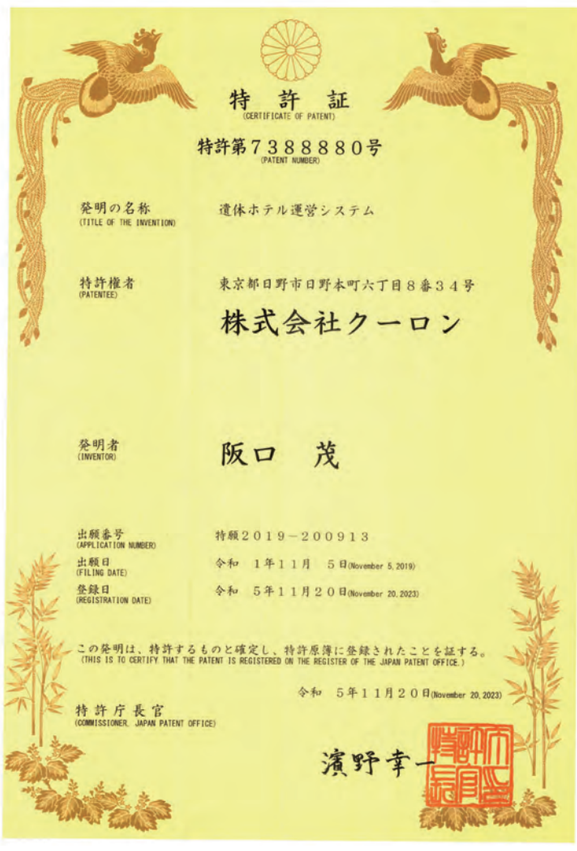
発明者 (INVENTOR)　阪口　茂

出願番号 (APPLICATION NUMBER)　特願２０１７－１５９６０７
出願日 (FILING DATE)　平成２９年　８月２２日(August 22, 2017)
登録日 (REGISTRATION DATE)　令和　４年　２月１４日(February 14, 2022)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和　４年　２月１４日(February 14, 2022)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)　森　清



特　許　証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第7388880号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION)　遺体ホテル運営システム

特許権者 (PATENTEE)　東京都日野市日野本町六丁目８番３４号
株式会社クーロン

発明者 (INVENTOR)　阪口　茂

出願番号 (APPLICATION NUMBER)　特願２０１９－２００９１３
出願日 (FILING DATE)　令和　１年１１月　５日(November 5, 2019)
登録日 (REGISTRATION DATE)　令和　５年１１月２０日(November 20, 2023)

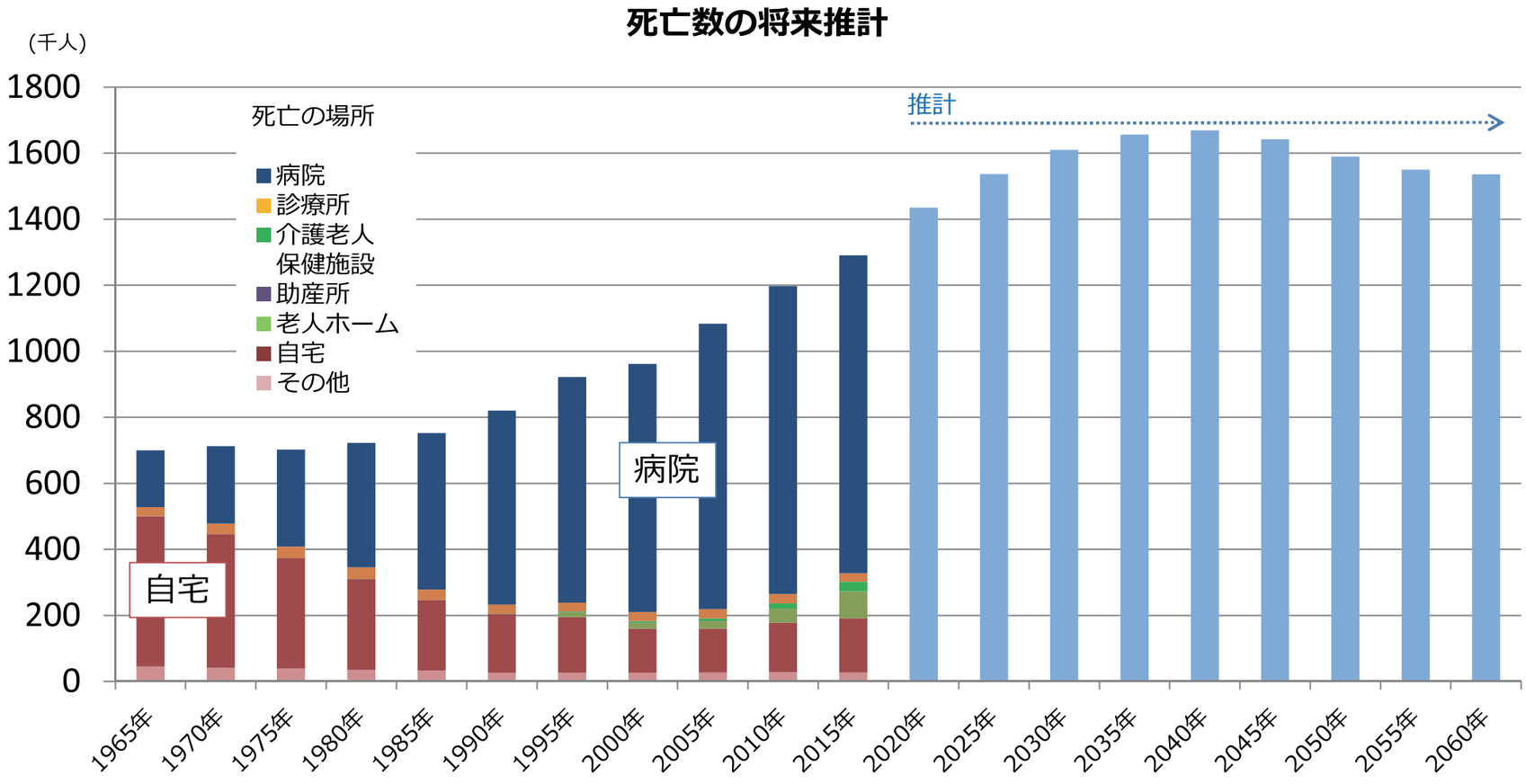
この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和　５年１１月２０日(November 20, 2023)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)　濱野幸一

死亡数の将来推計

○　年間の死亡数は今後も増加傾向を示すことが予想され、最も年間死亡数の多い2040年と現状（2015年）では約36万人/年増加すると推計されている。
○　近年、医療機関以外の場所における死亡が微増傾向にある。



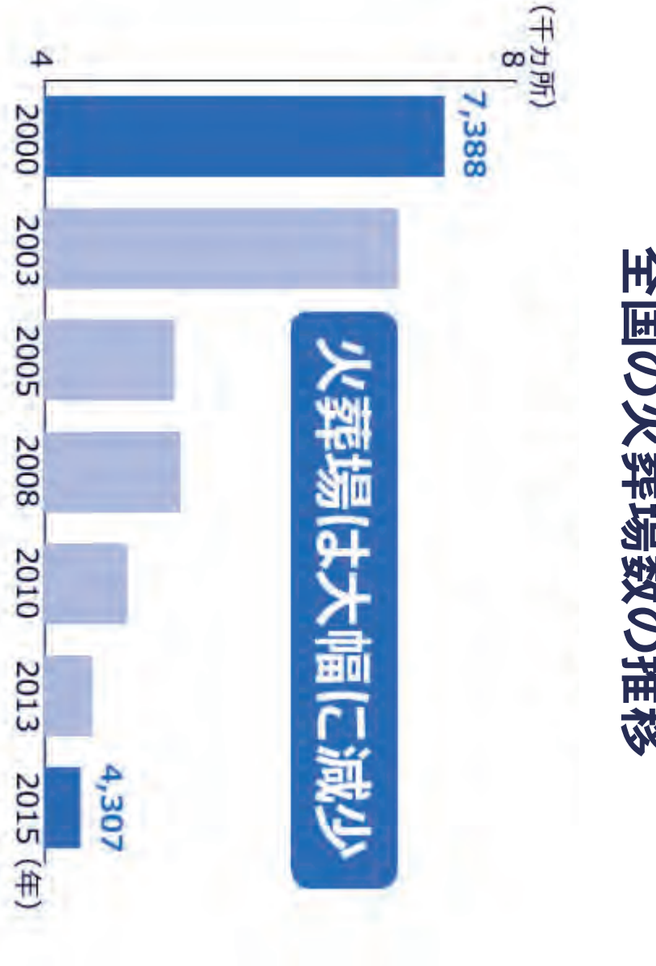
※注：1990年までは、老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれる。
出典：2015年以前は厚生労働省「人口動態統計」による出生数及び死亡数（いずれも日本人）
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

人生最期の場所「火葬場」は迷惑施設なのか

火葬場増設に各地で猛反発、一方で和解例も

近隣住民に「迷惑施設」（社会の中には必要だが、地域には不都合）として扱われるのは、火葬場も同様です。

全国の火葬場数の推移



出典：厚生労働省 2018年10月09日時点